

ぼちぼち一生懸命

演習「道徳の授業づくり」～ガッツリ2時間資料分析！～

今年度最終回でした。これまで一年間、**高い熱量**で取り組んだ「道徳」で、締めくくりました。皆さんからリクエストいただいた資料をじっくり時間をかけて分析しました。



一年を通して道徳の授業を考えるきっかけやキーを与えてもらったと思います。今後も生かしていきます。

普段、道徳の授業のことで話し合うことがなかなかなく、また、教材の解説や授業の組み立て方なども教えてくださったのでとても勉強になりました。

内容を読み込み、生き方が変化した瞬間はどこかを見つけることが大事だと分かりました。

それぞれの教材について、しっかり読み込んだ上でグループで話し合える時間があつたことで、普段、指導書頼みになってしまっていることに改めて気づかされるとともに、「こうやって読んでみるとおもしろいな」と感じる面もありました。

中心発問を決めるのは、改めて難しいなと感じた。他の先生の意見を聞くことができ、とても深まった。

道徳的価値そのものの意味、正直とは...誠実とは...をまだ自分が知らないので、学んでいきたい。



「正直」にも自分の欲求に「正直」や、正しいことをする「正直」の2つがあつて、それを授業で上手く扱っていくのが難しいなと思った。

自分が道徳的価値についての考えや理解が不十分では授業を行うことができないということに改めて感じた。「愛」に関する事で、好き以外に「大切」があるということを知れて納得することができた。地域に愛着をもつことを行幸小で取り組んできたが、好きという価値ではなく大切にするという児童を育てたいと思った。

今日「before after」の他にも、話を節ごとに切り、心情や価値を見ていくと発問の仕方も見えてくることを知り、とても参考になりました。

自分が何を聞きたいかをしっかりと考えることで中心発問につながったり価値につながったりすることが分かりました。

道徳的価値が何なのか、分析することが楽しかった。考えれば考えるほど沼にはまっていくが、場面ごとに切り取って考える方法は個人的にじっくりきた。

道徳の授業について、教材研究の仕方から中心発問の深め方、道徳的価値をどう捉えるかといったことまで、他校の先生方と議論し、市教委の先生方に質問させていただき、説明を聞かせていただき...とても充実した2時間でした。



皆勤賞の先生も！

いろいろなボールを投げ込んでいただきました。いろいろな球種、球速がありましたが、「打席に入っている私に向かって投げてください」ボールなので、うれしかったです。次回は素振りをしっかりと、ヘルメットを被り、バットを持ってきます。
(松本参事の閉会のあいさつのお話を受けて)

今年は毎月末の金曜日、**プレミアムフライデー**に開催しました。一年間で、なんと65人*、延べ159人*の先生が牛窓町公民館の3階に足を運んでくださり、「TEAM瀬戸内」の教師力が今年も**パワーアップ**しました！先生方の学びが、子どもたちの力になると信じています！（渡邊）

* 第7回(12/25)を含めると96人(延べ226人)の先生が参加くださいました